平成25年度 事 業 報 告

自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日

公益社団法人 自彊術普及会

I 【概 要】

潜在的供給力に対する需要が足りないなど先進国経済が未だ低調な状況が続く中、日本経済はアベノミクス効果により大企業の業績回復も報じられ、日の光が射し始めたとされている。しかし、円安の進行による輸出押上げ効果で3年ぶりに輸出増加に転じたとされるが、平成25年度の貿易赤字は約14兆円にものぼり、円安=輸出増=貿易黒字とはならなかった。財務省によると「国内企業の海外移転などの構造的要因なのか循環的要因なのか判別できない。」という不透明な状況にあり、アベノミクスの成否の正念場はこれからにかかっているようである。また、日本国の前途には、近い将来に予想される東海・東南海・南海地震に対する不安や中国・韓国・北朝鮮などとの軋轢にも改善の兆しが見られないなど、大きな不安要因が依然として立ちはだかっている。

かような状況の中、本会会員は高齢化が急速に進展する社会において、自彊術の実践と普及を 通して困難を乗り越える体力と精神力を獲得し、自らの健康の維持・向上を図るのみならず、健 康年齢を延長する介護予防の視点からも普及活動を推進し、激増する高齢者福祉予算の節減に貢 献できる喜びと誇りを持って活動したものと考えている。

「社会のための自彊術」という視点を持ち、各事業の遂行に努めて下さった各支部長以下全国 の指導員そして本部職員の皆々様に感謝を申し上げる。

なお、平成25年度には、本会の活動の趣意を理解して入会した賛助会員は、53,181名となり前年度比687名(約1.3%)の増加となっており、本会の各事業活動は各支部長並びに指導者各位の社会に貢献しようとの情熱と使命感により順調に推移したものと考える。

会 員	平成25年3月末	平成26年3月末	増減
名誉会員	1	1	0
正会員	6 2 2	6 2 0	- 2
賛助会員	52, 494	53, 181	+ 6 8 7
合 計	53, 117	53,802	+685

II 【事業の内容】

公1 普及促進事業

1、指導講習会の実施(定款第4条第1項(1))

本部主宰の講習会のほか中伝資格者以上の指導者が主宰する教場での講習会において、従前よりの教場に加えて平成25年度は下表の推移となった。

① 新設教室

指導者の増加に伴い前年度確定値比として新教場(137)が新設された。

新設教場増加数(初心者講習会を含む)							
	北海道	東北	関東	中部	関西	中国・四国・九州	合計
既存教室 H24 下期 (確定値)	55	228	2,332	612	557	429	4,213
H25年度増減 (※速報値)	-1	0	+51	+30	+52	+5	+137
計	54	228	2,383	642	609	434	4,350

[※] 各支部長申告のデータより算出しています。

② 受託講習会

生涯教育としての「自彊術」の必要性の認識が高まり、地方公共団体・病院の主宰する講習会や、NHK・朝日・読売などの民間カルチャーセンターなどからの講師派遣依頼も増加した。

③ ボランティア活動

介護施設のデイケアに訪問し、参加者が可能とする運動を自彊術 31 動から抜粋して行う等の活動がなされた。

2、指導者養成及び資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

「自彊術」を後世に永くかつ正確に継承する為に、また安全かつ適切な指導による自彊術体操の普及を確保する為に、その原点である療法と体操を基礎から学ぶ研修会を実施し、その修練と研鑽による技量に応じて指導者資格を認定授与する。

(1) 指導者養成特別研修会(「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第5条)

① 熱川研修会(自彊術体操の普及とその技術と精神の伝承を志し、自彊術普及会の中核指導者とならんとする者を養成することを目的とする。)

第 88 回	平成 25 年 4 月 12 日~14 日
	指導者 師範3名・準師範1名・奥伝4名
	受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計 116名
第 89 回	平成 25 年 6 月 28 日~30 日
	指導者 師範2名・準師範2名・奥伝3名
	受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計 105名

第 90 回	平成 25 年 10 月 25 日~27 日
	指導者 師範2名・準師範3名・奥伝2名
	受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計 92 名

近年、厳しい研修にもかかわらず、参加希望者は、その技術力・指導力の向上を目指している。

なお普及会本部では、全国規模で集合し研修を受けることにより、統一的な技術の維持 確保及びその精神の伝承を図る、という非常に重要な研修会と位置づけており、研修内容 も厳しいものになっている。

② **シニア熱川研修会(65** 歳以上の、指導者を目指す者を対象とした研修会を伊豆熱川で開催する。)

第7回	平成 25 年 10 月 23 日~25 日					
	指導者 師範2名・準師範2名・奥伝4名					
	受講対象者 65歳以上の中伝取得者、中伝を目指す者 計116名					

指導者を目指す 65 歳以上の人を一堂に集め、自彊術の技術とその精神を正しく伝えるという目的で開催された。目的である指導技術の統一的伝承という成果は、充分に挙げ得たということができる。指導者たちの高齢化に伴う指導力の漸次的低下に対応する研修会の有意性が認識される。

③ 総支部指導者養成所研修会

各支部の中核となる指導者養成のために、本部並びに総支部に於いて年 10 回を 1 タームとする基準をもって実施する。

名 称	受講資格	実施場所	扌	旨導講師
東北 指導者養成所	初伝・中伝	福島県福島市置賜町 5 置賜会館	師 範	長谷場 京 他
関東 指導者養成所	初伝・中伝	東京都北区中里 2-13-1 本部道場	師 範	近藤 幸世 他
神奈川県 指導者養成所	初伝・中伝	東京都北区中里 2-13-1 本部道場	師 範	幸村惠美子他
中部 指導者養成所	初伝・中伝	愛知県名古屋市中区丸の 内 2-5-10 アイリス愛知	準師範	永井 弘子 他
関西 指導者養成所	初伝・中伝	大阪府大阪市阿倍野区松 崎町 2-2-25 安倍乃荘	準師範	四本多美子他
九州・中国 指導者養成所	初伝·中伝	福岡県福岡市中央区天神 2-2-20 警固神社 福岡県北九州市小倉北古 船場 1-6 菅原会館	師 範	久保 穎子 他

④ 地方特別研修会

各支部の中核となる指導者養成のために各支部の要請に応じ、年1回随時実施する。

平成 25 年度 地方特別研修会

No.	支部名		開催	盖 日		開催場所	実行委員長	講師	講師
1	春日部支部	4/23	(火)	4/24	(水)	本部道場	大野 光代	小篠 幾代	堤 恭子
2	甲府·立川支部	5/11	(土)	5/12	(日)	八ヶ岳ロイヤルホテル	遠藤 ゆり子	藤井 眞規子	吉川 由美子
3	豊橋支部	5/11	(土)	5/12	(日)	豊橋パークホテル	國井 淳子	小林 久美子	高城 美恵子
4	石川県支部	5/11	(土)	5/12	(日)	石川県文教会館	木戸 外茂子	田幡 鈴美	
5	練馬•千代田支部	5/14	(火)	5/15	(水)	本部道場	宮﨑 町子	猪狩 正子	結城 献子
6	東松山·川越·熊 谷支部	5/21	(火)	5/22	(水)	本部道場	大谷 歓子	杉田 富久子	丹羽 とも子
7	名古屋中支部	5/21	(火)	5/22	(水)	アイリス愛知	森田 惠美子	山尾 慶子	朝倉 淑美
8	大阪府·大阪東支 部	5/25	(土)	5/26	(日)	阿部乃荘	木村 嘉津子	宮本 縒子	善上 陽子
9	千葉県柏支部	5/28	(火)	5/29	(水)	本部道場	久保田 元子	堀井 惠子	鈴木 多津子
10	千葉県成田支部	6/4	(火)	6/5	(水)	本部道場	長岡 勝美	虫生 一惠	高木 洋美
11	東北総支部	6/8	(土)	6/9	(日)	摺上亭大鳥	染谷 文子	山中 節子	加藤 由美子
12	大宮南·千葉県流 山·千葉県稲毛支 部	6/25	(火)	6/26	(水)	本部道場	須賀 照子	幸村 惠美子	松井 陽子
13	兵庫県支部	6/29	(土)	6/30	(日)	シーパル須磨	四本 多美子	中島 陽子	須賀 照子
14	むさし野・新宿朝 日支部合同	7/2	(火)	7/3	(水)	本部道場	石川 昌子	久保田 元子	白須 清子
15	札幌支部	7/6	(土)	7/7	(日)	全日空ホテル	玉置 百合子	四本 多美子	石塚 亨江
16	千葉県支部	7/16	(火)	7/17	(水)	本部道場	猪狩 正子	小篠 幾代	藤井 靖子
17	わかやま県支部	7/20	(土)	7/21	(日)	和歌山県地域地場産 業振興センター	田幡 鈴美	中島 陽子	都築 チヨ子
18	春日部南·立川朝 日支部	7/23	(火)	7/24	(水)	本部道場	大塚 愛子	長岡 勝美	越川 幸子
19	神奈川県総支部	9/17	(火)	9/18	(水)	本部道場	虫生 一惠	永井 弘子	須賀 照子
20	九州•中国総支部	9/16	(月)	9/17	(火)	警固神社	宮本 縒子	小林 久美子	吉川 由美子
21	静岡県支部	9/28	(土)	9/29	(日)	県職員会館もくせい会 館	堀井 惠子	四本 多美子	久坂 久代
22	大宮支部	10/5	(土)	10/6	(日)	本部道場	中島 陽子	猪狩 正子	江波戸 光子
23	京都府·奈良県支 部	10/5	(土)	10/6	(日)	洛南会館	山尾 慶子	藤井 眞規子	早野 登喜子
24	豊川·名古屋東支 部	10/5	(土)	10/6	(日)	アイリス愛知	加藤 由美子	宮本 縒子	善上 陽子
25	東京北支部	10/19	(土)	10/20	(日)	本部道場	堤 恭子	幸村 惠美子	吉田 裕子 大橋 直子
26	三重県支部	10/26	(土)	10/27	(日)	鈴鹿グリーンパークホ テル	奥野 敏子	山尾 慶子	片海 喜美子
27	名古屋支部	11/2	(土)	11/3	(日)	アイリス愛知	永井 弘子	大野 光代	堀内 郁子
28	所沢·富士北麓支 部·板橋支部	11/5	(火)	11/6	(水)	本部道場	結城 献子	佐藤 秀子	安岡 玲子
29	滋賀県·京都洛中 支部	11/9	(土)	11/10	(日)	アヤハレークサイド	定行 伊佐子	虫生 一惠	鈴木 すが子
30	小平支部	11/19	(火)	11/20	(水)	本部道場	小池 喜代子	山中 節子	丹羽 とも子

(2)上級指導者研修会(「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第7条)

奥伝資格以上の指導者を対象とし、その指導技術、徳育(自彊術の精神)の更なる涵養を図り、 後進指導者に対する養成力を培うと同時に、自彊術体操を日本の一文化として後世に伝承す る気概を持つ人材を育成することを目的とする。

① 準師範等研修会(体操・療法についての技術、指導上の要点の確認をし、その結果を指導 者養成特別研修会における研修に反映させることにより、指導の統一性を維持することを 目的とする。)

箱根湯本:平成26年2月15日~16日

師範 4 名、準師範 14 名

② 奥伝研修会

(i)選抜奥伝研修会(将来、指導者養成特別研修会の講師となる者を養成することを目的と し、その候補者約30名は本部が選出する。)

平成 25 年 4 月 16 日、8 月 6 日、10 月 22 日、平成 26 年 1 月 14 日

(ii) 奥伝会(広く奥伝資格者を対象とする。)

箱根湯本:平成26年2月16日~17日 師範4名、準師範17名、奥伝80名

③ 支部長研修会

本部道場他:平成25年4月16日、8月6日、10月22日、平成26年1月14日

(3) 資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

免状	年 度	月	人数	小 計
		4 月	133名	
初伝	平成 25 年	7月	255 名	
初伝	平成 26 年	10 月	161名	
		1月	271名	820名
中 伝	平成 25 年	8月	141名	141 名
奥 伝	平成 25 年	6 月	14名	14名
準師範	平成 25 年	6月	2名	2名
師範	平成 25 年	6月	0名	0名

地方区分別免状取得者分布は、下記のごとくとなった。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国四国 九州	合計
初伝	21	38	479	83	141	58	820
中伝	0	6	86	15	24	10	141
奥伝	0	1	10	0	1	2	14
準師範	0	0	2	0	0	0	2
師範	0	0	0	0	0	0	0

公2 普及啓発事業

1、自彊術に関する調査研究(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の日常生活に於ける有効性を実証することを目的に、10月25日第7回シニア 熱川研修会において研修参加者を対象に健康度測定調査を実施した。その結果、自彊術歴の 違いにより多少の差はあるが、体操継続者の健康度は、各年代グループ毎の平均健康度をか なり上回ることが明らかになった。

2、自彊術に関する刊行物等の発行(定款第4条第1項(3))

①機関紙「自彊の友」の発行

毎月、近藤医学博士による「自彊術」の医学的根拠・効能に関する講義、受講者たちの体験談、普及活動の現状、免状取得者の氏名、事業計画の伝達等を掲載して自彊術体操の優秀性・合理性を社会に啓発することを目的とする。

本年度も引き続き「自彊術」の効用・会員の動向の関連記事を中心に編集した。平成 25 年度各号の主な記事は次の通りである。

- 4月号(446号)
 - · 第 17 回奥伝研修会
 - ・平成25年1月1日附初伝取得者名簿(309名)
- 5月号(447号)
 - ・セロトニン活性と自彊術
 - ・自彊術の測定結果についての考察 東邦大学医学部教授 有田秀穂先生
- 6月号(448号)
 - ・静岡県支部 30 周年記念旅行
 - ・平成25年4月1日附初伝取得者名簿(133名)
- 7月号 (449号)
 - ・第26回通常総会
 - 新会長挨拶
 - 正味財産増減計算書
- 8月号(450号)
 - ・名古屋支部 40 周年記念大会
 - •平成25年7月1日附初伝取得者名簿(255名)
 - ・「医学からみた自彊術(免疫の視点から)」① 東京大学医学部附属病院 関谷剛先生(公開講演会)
- 9月号 (451号)
 - ・世界最大級客船(ボイジャー・オブ・ザ・シーズ)で自彊術講習会3日間開催
 - ・選抜奥伝研修会と支部長研修会
 - ・「医学からみた自彊術(免疫の視点から)」② (公開講演会)

- 10月号(452号)
 - · 沖縄支部設立 30 周年記念大会
 - ·平成 25 年 8 月 15 日附中伝取得者名簿(141 名)
 - ・「医学からみた自彊術(免疫の視点から)」③ (公開講演会)
- 11月号(453号)
 - · 千葉県柏支部 20 周年記念大会
 - ・「医学からみた自彊術(免疫の視点から)」④ (公開講演会)
- 12 月号 (454 号)
 - ・「国際交流祭 in 台北」に参加して
 - ・神奈川ふじさわ支部 10 周年記念大会
 - ・「医学からみた自彊術(免疫の視点から)」 ⑤ (公開講演会)
- 1月号(455号)
 - ・新年の御挨拶
 - · 平成 25 年 10 月 1 日附初伝取得者名簿(161 名)
 - · 千葉県成田支部 20 周年大会
 - ・「医学からみた自彊術(免疫の視点から)」⑥ (公開講演会)
- 2月号(456号)
 - ・米国ワシントンで講習会開催
 - ・名古屋中支部設立 35 周年を迎えて
 - ・近藤芳朗先生メモリアル・レクチャー 自律神経失調症①
- 3月号(457号)
 - ・神奈川南支部 25 周年記念旅行(被災地訪問と中尊寺へ)
 - ·平成26年1月1日附初伝取得者名簿(271名)
 - ・近藤芳朗先生メモリアル・レクチャー 自律神経失調症②

②「リーフレット」配布状況

リーフレットには、「自彊術」の歴史と効能・地域ごとの開催場所や主宰者名が記載されている。普及活動が活発になるにつれて配布量は増加し、35,000 部の作成配布となった。

③「自彊術の栞」配布状況

葉には、「カリキュラム」「自彊術の心得」とともに、「入会に必要な事項」が記載されている。20,000 部の作成・配布となった。

3、web による情報の公開(定款第4条第1項(3))

公益法人に要求される情報公開への対応及び社会への普及啓発のために、更なる充実を図り、 本会に対する社会的信頼の形成に尽力する必要がある。

4、公開講演会の実施(定款第4条第1項(4))

一般への普及啓発と会員の啓発を目的として、6月20日に東京大学医学部附属病院関谷剛先生により「医学からみた自彊術(免疫の視点から)」の演題で実施され好評を得た。

5、周年記念行事の実施(定款第4条第1項(4))

支部周年行事

- 40 周年 名古屋支部
- ・35 周年 名古屋中支部
- ・30 周年 静岡県支部 沖縄支部
- ・25 周年 神奈川南支部
- ・20 周年 千葉県成田支部 千葉県柏支部
- ・15 周年 練馬支部 むさし野支部
- ・10 周年 茨城県支部 神奈川ふじさわ支部

6、海外文化交流の実施(定款第4条第1項(4))

- ①「国際交流祭 in 台北」(NHK 文化センター主催、日本側参加 19 団体、台湾側 6 団体)への参加 平成 25 年 11 月 14 日~19 日の日程で中部総支部、関西総支部の指導者 21 名、本部 理事 2 名が参加。来場者約 11,000 名の中、舞台公演とブース展示を行い大変好評を得た。 中でも台湾太鼓協会理事長王妙涓氏より、台湾での講習会を要請され、本年 3 月には来日 し本会本部を訪問。7 月以降に指導者の派遣を検討することにしている。
- ②米国ワシントン DC 教室の活動と将来展望

昨年に引き続き本年1月3日より9日の日程で本部より奥伝2名中伝1名が派遣された。 平成25年10月には、「中伝」資格取得を目ざして、2名の方が第90回熱川研修会及び 地方特別研修会への参加のため来日。米国における普及活動定着への第一歩が踏み出され たものと期待している。

7、近藤芳朗記念館における展示(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の誕生・発展・衰退、そしてその復興の歴史に関する資料の収集と展示を通じて自 彊術の技術的精神的優秀性を啓発することを目的とする。

- 事務局就業時間中、一般の方も常時見学ができる。(要予約)
- ・入館料は無料
- ・本年度入館者数 179 名 (6月~9月の間、事務所改修のため休館)

III 【その他】

1、会議(定款第3章以下及び4章以下)

(1)**総会・・・・・・・** ○決算総会 平成 25 年 6 月 20 日 京王プラザホテル

議題:平成24年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告 役員の改選

○予算総会 平成26年3月8日 北とぴあ

議題:平成26年度事業計画 平成26年度収支予算

(2)理事会・・・・・・ ○決算理事会 平成 25 年 6 月 1 日 本部道場

議題:平成 24 年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告 役員の改選

○予算理事会 平成 26 年 2 月 22 日 北とぴあ

議題:平成26年度事業計画 平成26年度収支予算

○臨時理事会 平成 25 年 6 月 20 日 京王プラザホテル

議題:1代表理事の選定

2業務執行理事の選定

(3)支部主催会議・・・・ 随時

本部よりの通達事項の遵守を目的に随時開催された。

2、東日本大震災に伴う見舞金義援金募金活動の実施

平成 25 年度も、全国の会員より応援のご厚志が寄せられ、その金額は約 175 万円の高額に上り全壊・流失の重大な罹災をされた会員 32 名に対するお見舞金と足なが育英会津波遺児募金口への義援金として配賦がなされた。

3、本部事務局事務室の改修

本会が会員数5万人を超え、さらに発展する状況に鑑み、旧来の3万人対応の事務室では 手狭になったため、自彊術会館2階の改修工事を実施した。

4、マスコミに取り上げられた自彊術

• 本部

ベースボール・マガジン社新刊監修

• 春日部支部

BS 朝日「百年名家」(2013年9月1日)

· 千葉県支部

「広報まつど」(2013年8月15日)

「浦安タウン」(2013年8月3日、8月10日)

「畑コミュニティ」(2013年12月1日)

• 新宿朝日支部

「広報あびこ」(2013年5月16日)

• 練馬支部

「区民のひろば」(2013年4月21日、6月21日、2014年1月21日)

・むさし野支部

「広報西東京」(2013年11月1日)

「タウン通信」(2013年10月30日))

• 千葉県流山支部

「あびこ楽校ニュース」 (2013年4月16日)

• 立川朝日支部

「よみうりサンタマリア」 (2014年1月号)

• 甲府支部

UTY テレビ山梨「ニュースの星、学びの輪」(2014年3月25日)

• 神奈川南支部

「タウンニュース」(2013年11月、2014年1月)

• 静岡葵支部

「広報かんなみ」3月号

• 名古屋支部

南ホームニュース「ナンタン」(2013年5月11日)

• 大阪府支部

朝日新聞サービスタウン誌「ぶんぶん」(2014年2月2日)

平成25年度決算報告書 平成25年度貸借対照表

平成26年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

科目	当 年 度		増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	105,378,429	87,633,533	17,744,896
未収金	736,000	760,422	-24,422
前払費用	235,583	511,182	-275,599
仮払金	0	104,014	-104,014
流動資産合計	106,350,012	89,009,151	17,340,861
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	30,213,000	30,213,000	0
基本財産合計	30,213,000	30,213,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	16,785,000	37,000,000	-20,215,000
減価償却引当資産	70,000,000	60,000,000	10,000,000
特定資産合計	86,785,000	97,000,000	-10,215,000
(3) その他固定資産			
建物	343,543,692	337,645,778	5,897,914
建物附属設備	14,277,400	10,476,709	3,800,691
構築物	1,053,982	1,053,982	0
什器備品	8,448,482	4,023,908	4,424,574
土地	267,724,687	267,724,687	0
減価償却累計額	-90,613,919	-82,058,451	-8,555,468
ソフトウェア	476,700	476,700	0
電話加入権	72,800	72,800	0
商標権	2,438,175	2,438,175	0
保証金	20,000	20,000	0
保険積立金	0	14,665,984	-14,665,984
その他固定資産合計	547,441,999	556,540,272	-9,098,273
固定資産合計	664,439,999	683,753,272	-19,313,273
資産合計	770,790,011	772,762,423	-1,972,412

科目	当 年 度	前年度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,964,084	2,402,329	-438,245
未払費用	516,755	0	516,755
前受会費	42,464,500	41,429,000	1,035,500
預り金	486,222	950,324	-464,102
流動負債合計	45,431,561	44,781,653	649,908
2 固定負債			
退職給付引当金	20,500,000	39,234,916	-18,734,916
固定負債合計	20,500,000	39,234,916	
負債合計	65,931,561	84,016,569	-18,085,008
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(うち基本資産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産	674,858,450	658,745,854	16,112,596
一般正味財産合計	674,858,450	658,745,854	16,112,596
(うち基本資産への充当額)	(213,000)	(213,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(70,000,000)	(60,000,000)	(10,000,000)
正味財産合計	704,858,450	688,745,854	16,112,596
負債及び正味財産合計	770,790,011	772,762,423	-1,972,412

平成25年度 正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

当 年 度	前 年 度	増 減
390,000	390,000	0
20,258	27,187	-6,929
		2,637,500
		80,000
		2,557,500
		-10,063,936
		4,314
		-9,233,500
		-834,750
		165,000
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		165,000
· ·		1,455,869
		156,000
		1,453
	·	-35,600
ŭ		-35,000 1,334,016
	•	-5,812,496
271,030,031	210,049,321	-5,612,490
005 010 057	000 004 000	0.000.001
		2,685,221
		-7,390,140
		-431,008
		1,109,275
		-1,158,120
1,093,782		-1,872,235
0	·	-77,040
·		280,000
		-154,306
		2,883,151
13,266,992	23,389,647	-10,122,655
21,621,761	15,040,431	6,581,330
8,643,319	8,533,198	110,121
7,687,894	7,132,146	555,748
42,000	96,550	-54,550
14,021,008	4,054,243	9,966,765
3,074,215	1,497,510	1,576,705
9,681,220	11,666,410	-1,985,190
600,694	630,510	-29,816
1,388,309	1,401,775	-13,466
167,328	91,728	75,600
243,977	236,347	7,630
		313,742
		-1,936
		138,668
		-34,935
	390,000 20,258 165,860,500 6,350,000 159,510,500 92,965,080 12,264,080 60,184,000 20,517,000 265,000 11,535,993 10,197,000 4,977 0 1,334,016 271,036,831 205,919,857 29,566,860 15,627,400 3,188,925 26,278,800 1,093,782 0 580,000 3,019,347 10,466,907 13,266,992 21,621,761 8,643,319 7,687,894 42,000 14,021,008 3,074,215 9,681,220 600,694 1,388,309 167,328	390,000 390,000 20,258 27,187 165,860,500 163,223,000 6,350,000 6,270,000 159,510,500 156,953,000 92,965,080 103,029,016 12,264,080 12,259,766 60,184,000 69,417,500 20,517,000 21,351,750 265,000 100,000 11,535,993 10,080,124 10,197,000 10,041,000 4,977 3,524 0 35,600 1,334,016 0 271,036,831 276,849,327 205,919,857 203,234,636 29,566,860 36,957,000 15,627,400 16,058,408 3,188,925 2,079,650 26,278,800 27,436,920 1,093,782 2,966,017 0 77,040 580,000 300,000 3,019,347 3,173,653 10,466,907 7,583,756 13,266,992 23,389,647 21,621,761 15,040,431 8,643,319 8,533,198 7,687,894 7,132,146 42,000 96,550 14,021,008 4,054,243 3,074,215 1,497,510 9,681,220 11,666,410 600,694 630,510 1,388,309 1,401,775 167,328 91,728 243,977 236,347 1,964,741 1,650,999 2,029,912 2,031,848 142,616 3,948

科目	当 年 度	前 年 度	増 減
委託費	4,740,935	2,657,320	2,083,615
事務委託費	25,637,200	25,191,700	445,500
維費	879,490	996,722	-117,232
② 管理費	48,762,063	41,792,804	6,969,259
役員報酬	10,893,140	12,303,000	-1,409,860
給料手当	3,933,780	3,893,411	40,369
臨時雇賃金	0	0	0
役員退職慰労金繰入額	386,302	962,483	-576,181
退職給付費用	0	0	0
退職給付金	503,176	0	0
法定福利費	1,588,912	1,314,782	274,130
福利厚生費	301,078	295,696	5,382
会議費	9,198,925	9,232,632	-33,707
会場費	1,498,455	1,414,245	84,210
旅費交通費	997,450	1,650,700	-653,250
通勤費	530,760	467,510	63,250
通信運搬費	1,070,093	1,180,369	-110,276
減価償却費	1,550,569	1,286,971	263,598
什器備品費	352,600	403,714	-51,114
消耗品費	1,460,500	865,751	594,749
修繕費	2,529,249	136,658	2,392,591
印刷製本費	402,255	840,569	-438,314
渉外費	862,576	255,651	606,925
光熱水料費	577,379	581,587	-4,208
リース料	379,512	298,872	80,640
保険料	28,017	28,017	0
諸謝金	32,274	22,222	10,052
租税公課	4,889,338	525,521	4,363,817
支払寄付金	533,000	61,000	472,000
支払手数料	124,950	159,835	-34,885
委託費	3,232,320	3,249,710	-17,390
雑費	905,453	361,898	543,555
経常費用計	254,681,920	245,027,440	9,654,480
当期経常増減額	16,354,911	31,821,887	-15,466,976
2 経常外増減の部			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	242,315	3	242,312
建物付属設備除却損	242,315	0	242,315
什器備品除却損	0	3	
経常外費用計	242,315	3	242,312
当期経常外増減額	-242,315	-3	-242,312
当期一般正味財産増減額	16,112,596	31,821,884	-15,709,288
一般正味財産期首残高	658,745,854	626,923,970	31,821,884
一般正味財産期末残高	674,858,450	658,745,854	16,112,596
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	704,858,450	688,745,854	16,112,596

平成25年度 正味財産増減計算書内訳表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

五皿工匠位入 百遍的自然	公益目的事業会計					(+14.11)
科目	普及促進事業(公 1)	普及啓発事業(公2)	共 通	小 計	法人会計	合 計
I一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	0	0	390,000	390,000		390,000
②特定資産運用益	0	0	20,258	20,258		20,258
③受取会費	0	0	82,930,250	82,930,250	82,930,250	165,860,500
正会員受取会費	0	0	3,175,000	3,175,000	3,175,000	6,350,000
賛助会員受取会費	0	0	79,755,250	79,755,250	79,755,250	159,510,500
④事業収益	92,965,080	0	0	92,965,080	0	92,965,080
講習会等実施事業収益	12,264,080	0	0	12,264,080	0	12,264,080
指導者養成事業収益	60,184,000	0	0	60,184,000	0	60,184,000
免状発行等事業収益	20,517,000	0	0	20,517,000	0	20,517,000
⑤受取寄付金	0	0	265,000	265,000	0	265,000
受取寄付金	0	0	265,000	265,000	0	265,000
⑥雑収益	0	0	1,338,993	1,338,993	10,197,000	11,535,993
受取総会・懇親会費			0	0	10,197,000	10,197,000
受取利息	0	0	4,977	4,977	0	4,977
雑収益	0	0	0	0	0	0
保険差益			1,334,016	1,334,016	0	1,334,016
経常収益計	92,965,080	0	84,944,501	177,909,581	93,127,250	271,036,831
(2) 経常費用						
①事業費	142,602,590	63,317,267	0	205,919,857	0	205,919,857
役員報酬	21,535,200	8,031,660		29,566,860		29,566,860
給料手当	12,928,998	2,698,402		15,627,400		15,627,400
臨時雇賃金	3,059,425	129,500		3,188,925		3,188,925
報酬謝金	26,278,800	0		26,278,800		26,278,800
役員退職慰労金繰入額	796,285	297,497		1,093,782		1,093,782
退職給付費用	0	0		0		0
退職給付金	580,000	0		580,000		580,000
法定福利費	2,375,678	643,669		3,019,347		3,019,347
会議費	9,904,261	562,646		10,466,907		10,466,907
会場費	12,598,513	668,479		13,266,992		13,266,992
旅費交通費	18,320,251	3,301,510		21,621,761		21,621,761
通信運搬費	3,042,790	5,600,529		8,643,319		8,643,319
減価償却費	5,873,866	1,814,028		7,687,894		7,687,894
什器備品費	42,000	0		42,000		42,000
消耗品費	10,701,641	3,319,367		14,021,008		14,021,008
修繕費	1,902,085	1,172,130		3,074,215		3,074,215
印刷製本費	1,538,470	8,142,750		9,681,220		9,681,220
渉外費	486,790	113,904		600,694		600,694
光熱水料費	1,153,753	234,556		1,388,309		1,388,309

		公益目的	事業会計			
科目	普及促進事業(公 1)	普及啓発事業(公2)	共 通	小 計	法人会計	合 計
リース料	102,564	64,764		167,328		167,328
保険料	207,120	36,857		243,977		243,977
諸謝金	10,000	1,954,741		1,964,741		1,964,741
租税公課	1,692,520	337,392		2,029,912		2,029,912
インターネット	0	142,616		142,616		142,616
支払手数料	257,790	6,435		264,225		264,225
委託費	4,360,000	380,935		4,740,935		4,740,935
事務委託費	2,183,000	23,454,200		25,637,200		25,637,200
維費	670,790	208,700		879,490	40 = 00 000	879,490
②管理費	0	0	0	0	48,762,063	
役員報酬					10,893,140	
給料手当					3,933,780	3,933,780
臨時雇賃金					0	0
役員退職慰労金繰入額					386,302	386,302
退職給付費用					503,176	·
法定福利費					1,588,912	1,588,912
福利厚生費					301,078	·
会議費					9,198,925	
会場費					1,498,455	1,498,455
旅費交通費					997,450	997,450
通勤費 通信運搬費					530,760 1,070,093	530,760
減価償却費					1,550,569	
					352,600	352,600
消耗品費					1,460,500	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
修繕費					2,529,249	2,529,249
印刷製本費					402,255	402,255
渉外費					862,576	862,576
光熱水料費					577,379	577,379
リース料					379,512	379,512
保険料					28,017	28,017
諸謝金					32,274	
租税公課					4,889,338	·
支払寄付金					533,000	533,000
支払手数料					124,950	124,950
委託費					3,232,320	·
雑費					905,453	905,453
経常費用計	142,602,590	63,317,267	0	205,919,857	48,762,063	254,681,920
当期経常増減額	-49,637,510	-63,317,267	84,944,501	-28,010,276	44,365,187	16,354,911
2 経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用						
固定資産除却損	0	0	242,315	242,315	0	242,315

	公益目的事業会計					
科目	普及促進事業(公 1)	普及啓発事業(公2)	共 通	小計	法人会計	合 計
経常外費用計	0	0	242,315	242,315	0	242,315
当期経常外増減額	0	0	-242,315	-242,315	0	-242,315
他会計振替額	0	0	28,252,591	28,252,591	-28,252,591	0
当期一般正味財産増減額	-49,637,510	-63,317,267	112,954,777	0	16,112,596	16,112,596
一般正味財産期首残高				509,375,617	149,370,237	658,745,854
一般正味財産期末残高				509,375,617	165,482,833	674,858,450
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額				0	0	0
指定正味財産期首残高				30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産期末残高				30,000,000	0	30,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高				539,375,617	165,482,833	704,858,450

平成25年度 財産目録

平成26年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

貸借対照表科目		場所·物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	•手元保管(本部)	運転資金として	510,532
		・手元保管(各支部・61口)	運転資金として	5,595,750
			<現金計>	6,106,282
	預金	•城北信用金庫駒込支店	運転資金として	32,630,405
		・三菱東京UFJ銀行駒込支店	運転資金として	9,046,182
		・ゆうちょ銀行中里支店	運転資金として	13,518,935
		・ゆうちょ銀行支部口座(61口)	運転資金として	39,602,006
			〈普通預金計>	94,797,528
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として (026471)	4,381,519
		・ゆうちょ銀行王子郵便局	運転資金として (687874)	93,100
			<振替預金計>	4,474,619
	未収金	•講師料等の未収額	普及促進事業に供する講師料等の未収分	736,000
	前払費用	•火災保険料等前払費用額	公益目的事業及び管理業務の用に供する前払費用	235,583
			<その他計>	971,583
流動資産	合計			106,350,012
(固定資産)				
基本資産	投資有価証券	•第270回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的	30,213,000
			事業の財源として使用している。	00.010.000
			<基本資産計>	30,213,000
特定資産	退職給付引当資産	•定期預金	負債(退職給付引当金)に対応して引当された資産	10,000,000
		・普通預金 三菱東京UFJ銀行駒込支店	負債(退職給付引当金)に対応して引当された資産	6,785,000
	減価償却引当資産	·定期預金	 減価償却累計額に対応して引当された資産。	70,000,000
	2/10/21/21	左次パス型 三菱東京UFJ銀行駒込支店	< 特定資産計 >	86,785,000
その他固定	建物	·会館	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	41,221,489
資産	120	北区中里二丁目14	共用割合は66.0%:34.0%である。	11,221,100
	建物	•道場	 公益目的事業の用に供しており、共用割合は	153,620,016
		】 北区中里二丁目12	100%である。	
	建物(工事)	・資料館及び会館内装工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	13,586,611
	, = 1, 1	北区中里二丁目14	共用割合は82%:18%である。	,,-
	建物	·第二道場	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	48,265,211
		北区中里二丁目14	共用割合は80%:20%である。	, ,
	建物(改修工事)		公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	5,848,765
		北区中里二丁目14	共用割合は100%:0%及び0%:100%である。	, ,
		·	<建物計>	262,542,092
	建物付属設備	・会館2階の空調・電気・昇降	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	762,339
		設置工事	共用割合は50.0%:50.0%	
		・道場・会館の看板交換工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	169,115
			共用割合は76.0%:24.0%	
		・第二道場の電気・ガス・	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	4,059,247
		給排水•冷暖房等設備工事	共用割合は80%:20%	
		・会館2F設備・電気・照明工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	4,112,773
			共用割合は、0.0%:100.0%	

貸借対	付照表科目	場所·物量等	使用目的等	金額
		・会館3F電気工事・ミニキチン等	会公益目的事業及び管理業務の用に供しており、	351,331
			共用割合は、100.0%:0.0%	
			<建物付属設備計>	9,454,805
	構築物	・第二道場の舗装・排水工事、	公益目的事業及び管理業務の用に共しており、	709,224
		ネツトフエンス・電動門扉・	共用割合は80%:20%である。	
			<構築物計>	709,224
	什器備品	·家具	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	182,361
		・コンピュータ:サーバー	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	23,551
		•組込金庫		127,179
		・第二道場の電話設備・共同 視聴装置	公益目的事業及び管理業務の用に共しており、 共用割合は80%:20%	151,483
		・第二道場のインターフォン設備工事	公益目的事業及び管理業務の用に共しており、	63,527
		· · 绘画	共用割合は80%:20% 第四类数の用に1000/ #1 プレス	1 250 000
			管理業務の用に100%共している。	1,350,000
		・会館2Fエアコン・ブラインド	管理業務の用に100%共している。	1,076,067
		・会館1Fエアコン	公益目的事業の用に100%共している。	1,260,247
		・会館3Fエアコン・換気扇	公益目的事業の用に100%共している。	166,407
		・会館3F事務机・応接セツト	管理業務の用に100%供している。	998,001
	그 내	.05 702(合約)	〈什器備品計〉	5,398,823
	土地	·95. 70㎡(会館)	公益目的事業及び管理業務の用に共しており、	66,453,187
	그 내	北区中里二丁目14	共用割合は66.0%:34.0%である。	100 410 000
	土地	·131. 23㎡(道場)	公益目的事業に供しており、共用割合は100%	109,410,000
	1.44	北区中里二丁目12	である。	01 001 500
	土地	•116. 68㎡(第二道場)	公益目的事業及び管理業務の用に共しており、 共用割合は80.0%:20.0%	91,861,500
		北区中里二丁目14	(大力割合は80.0%:20.0%) <土地計>	067 704 607
	商標権	・自彊術に関する日本・中国	公益目的事業の用に供しており、共有割合は	267,724,687 1,519,568
	问标准	・台湾の商標権	100%である。	1,519,500
	ソフトウエア	・法人会計ソフト	100% Cめる。 管理業務の用に100%供している。	0
	電話加入権	・伝八云司ノノト	会 は 日本 発が 別に100% 供している。	72,800
	保証金	•警備保障会社契約保証金	管理業務の用に100%供している。	20,000
	水缸壶	音闸体学云江关机体证金		1,612,368
 固定資産合	 		~ C ◆ N 回日 >	664,439,999
資産合計	н			770,790,011
(流動負債)	未払金	•印刷製本費	月刊機関紙印刷代等の未払い額	1,248,799
(1),22,77 (1)(7)		•郵便事業	3月分後納郵便代	140,330
		• 北社会保険事務所	3月厚生年金保険料他、	337,795
		•支部交通費•講師料	九州・中国総支部研修会交通費・講師料	236,160
		•免状筆耕料	川名綾子	1,000
		2 2 0 1 7 1 1 1	<未払金>	1,964,084
	未払費用	•大宮支部教室出講 交通費	>>1.5 dec 207 >	516,755
			 <未払費用>	516,755
	前受会費	· 土曜教室月謝	本部道場土曜教室月謝	396,000
		• 賛助会費	平成24年度賛助会費の前受会費	37,128,500
		•研修会費	第91回熱川研修会130名分の研修会費	4,940,000
			<前受会費>	42,464,500

貸借效	J照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
	預り金	•王子税務署	26年3月分 3月分源泉所得税	249,459
		• "	26年3月分 204条源泉所得税	32,978
		•豊島区役所他	26年3月分住民税、	137,500
			雇用保険料他	66,285
			<預り金>	486,222
流動負債合	·計			45,431,561
(固定負債)	退職給付引当			
		•役員退職慰労引当金	常勤役員の退職慰労金の引当金	20,047,084
		•職員退職給付引当金	職員分の退職給付金	452,916
			<退職給付金引当金>	20,500,000
固定負債合	·計			20,500,000
負債合計				65,931,561
正味財産	Ē			704,858,450